



平成22年11月20日
川崎市立柿生中学校
柿生郷土史料館 情報・研究誌
第29号

柿生郷土史料館開設に向けて……

郷土の文化財は「人」をつくる

— 奈良県立畝傍(うづ)高等学校に学ぶ —

奈良県橿原(かしはら)市に建つ奈良県立畝傍(うづ)高等学校は明治29年(1896年)創立の学校で現在の校舎は平城京以前の藤原京(694~710年)の跡地にあります。



(森本六爾)

畝傍高校の周辺からは、藤原京をはじめ数々の古代遺跡が発見されています。最近では耶馬台国の有力候補地として注目されている纏向(まこと)遺跡もすぐ近隣にあります。

畝傍高校はこのような環境と114年の歴史のなかで大変多くの考古学者を輩出しています。例えば、弥生時代に稲作が開始されたことを提唱し『考古学の鬼』と言われ、松本清張の小説『断碑』の主人公のモデルにもなった森本六爾(もりもとろくじ)氏をはじめ、登呂遺跡の発掘で有名な國學院大学名誉教授であった樋口清之(ひぐちきよき)氏、高松塚古墳の発掘調査を指揮した関西大学名誉教授であった網干善教(あむしよりの)氏など大変多くの歴史学者を輩出しました。また、校内の「史料館」には教員・研究者・学生が今日まで発掘調査をして収集してきた、おびただしい量の考古資料が保管されています。

畝傍高校の歴代の生徒達は、日々豊かな歴史的、文化的環境のなかで今日まで育まれてきました。このような環境こそが子供たちの豊かな情操を作りだし、内面的な啓発となってきたわけです。こうした地域や学校の環境が多くの人を育て出す背景となったことは間違いのないことでしょう。

さて、柿生・岡上周辺の歴史的・文化的環境を考えてみますといかがでしょうか。決して他には引けを取らない歴史的、文化的環境が有るではありませんか。黒川周辺をはじめ、山口台、日光台、上ノ原、岡上丸山、などの数多くの古代遺跡をはじめ、王禅寺、岡上東光院などの史蹟は、私たちに時空を越えて古代のロマンというメッセージを送り続けているではありませんか。そしてこの度、設立された「柿生郷土史料館」はきっと皆さんに柿生・岡上の悠久のロマンを伝えてくれることだろうと思います。そのロマンこそがやがて若き学徒の思いに火をつけ、真理の探究に心を向けさせてくれることでしょう。

まさに畝傍高校にしても然り、郷土の文化財が「人」をつくり「人」を育む原点となりうるということを確認しております。そして、郷土柿生・岡上においては、「人づくり」の母体として「柿生郷土史料館」が必ずや機能していくことでしょう。やがてこの力が川崎の、そして日本の力となるということを信じながら……



(柿生郷土史料館展示室)

柿生・岡上 鉄の系譜 VII

出来た! 鶴見川の砂鉄で鉄器が

柿生中学校
郷土研究チーム

「柿生・岡上 鉄の系譜」をテーマに、鶴見川の鉄の文化を探るため、歴史・地質・民俗・地名等の視点から『柿生文化』の紙面等からもお伝えしてきました。

鉄器製作の企画は、「鶴見川流域に鉄の文化があったのか」を検証するため、本校生徒約20名による郷土研究チームを立ち上げ、検証1として昨年の10月より砂鉄

の採集を開始し約40キロの砂鉄を採取しました。

検証2として今年3月20日に古代タタラ製鉄実験を実施。更に精選した25キロの砂鉄を使用し、約4キロの「玉はがね」を得ることが出来ました。

検証3として鍛冶による鉄器の製作実験を近くの松沢鉄工所さんをお願いして行ない、下の写真のような鉄器を製作することが出来ました。



(検証1: 砂鉄採集の様子)



(検証2: タタラ実験の様子)

検証3の鉄器製作は、10月31日(日)午前8時半より麻生区東百合ヶ丘の松沢鉄工所で行なわれました。

まずは、①「ケラ(タタラで抽出された鋼と鉄滓の混じったもの)」をバーナーで熱し、水で冷却しハンマーで叩き不純物を取り出す作業を何回か繰り返し、より純度の高い鋼を抽出します。

②次に取り出された鋼を炉で赤くなるまで熱し、何回か叩くことにより、さらに不純物を取り出す。③刃先に使用する別の鋼を挟(はさ)め、炉で熱しながら叩いて形を整えていきます。

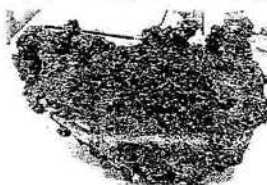
④グラインダーで刃の部分を作り荒削りします。⑤最後に出来上がった刃物を再度熱し冷却し「焼き」を入れます。⑥仕上げに砥石で研磨します。磨ぐ作業は本校の業務員の間島さんをお願いして大変すばらしい仕上がりとなりました。

今回の一連の企画は、砂鉄採取では約20名の郷土研究チームのメンバーのがんばり、タタラ古代製鉄や今回の鉄器製作では、NPOたたら教育の皆様、松澤貢さんをはじめとした鉄工所の皆様のご支援とご協力に支えられながら成功しました。大変ありがとうございました。次は、検証4として鶴見川の砂鉄と鶴見川流域から出土する

「鉄滓(炉で砂鉄を溶かして鉄を作る時に出る不純物:スラグ)」の成分の分析に入ります。鶴見川流域の鉄文化の検証はまだまだこれからも続きそうです。今後ともご支援をお願いします。



(検証3: 鍛冶による鉄器製作)



(使用したケラ: 玉はがね原材料)



(郷土研究チームメンバーと鉄工所の皆様)



(完成した鉄器)

— 柿生・岡上地名考 VII — 黒川

江戸時代「黒川炭」の大生産地

江戸時代の
ブランド商品

雑木林の多い多摩丘陵の黒川周辺の村々では、江戸時代の頃、冬の農閑期に炭を焼き江戸にたくさん出荷していたといわれます。

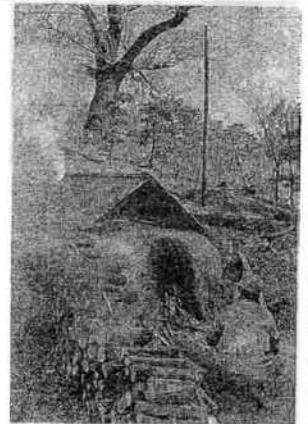


「小田原衆所領役帳」によると戦国時代は小山田庄黒川と記されて小山田弥三郎が支配していたようです。やがて江戸時代になると「新編武蔵風土記稿」には旗本の駒井右京進親直が支配するようになったと記載されています。

「黒川」の地名は、はっきりしたことは分かっていませんが、一つは、昔黒川の炭は、木の皮まで黒く炭になっているということから「黒皮炭(くろかわずみ)」と言われるようになったことからついた。二つ目は源流の谷戸から湧き出た水が小川となって田畑の「畔(くろ:あぜ)」をめぐって流れていたことからついた。

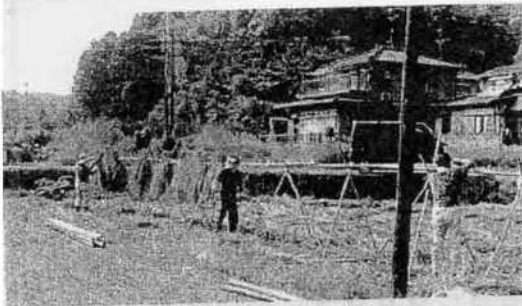
三つ目は、三沢川の最上流部が黒川と呼ばれ、さらに川の底の色が黒かったから「黒川」とついたという説があります。川の底の「黒」は砂鉄ではないかとも考えられます。近くの片平川は鉄分が高いですがどうでしょうか。

それでは、字・小字の地名を考えてみましょう。**牢場谷戸(らうばやど)**ですが「ローバ」という地名は周辺の村にも多く、牢獄があったのではないかという話もありますが、「籠馬」からきたもので放牧の馬を追い込んだ谷戸であったのではないかと考えられています。**すくも塚**(黒川1643番地付近)「すくも」とは「もみがらの山」をさす言葉です。したがってもみがらの山のような塚(墓や古墳など)が近くにあったのではないかと考えられます。**海道(かいと)**は「かいと」からきたものと思われます。これは全国的にみられる地名ですが、「境界」や「垣」「山や木の根が盛り上がった所」を指す時に使われる場合が多いようです。あるいは、近くの鎌倉街道との関係も捨て切れません。



(黒川の炭焼き:昭和60年頃)

腰巻(黒川245番地付近)は、台地の周辺をぐるっと取り巻く地域のことを指しているようです。地名ではありませんが気になる神社として、**汗守神社(あせもりじんじゃ)**があります。由緒はよく知りませんが、真光寺の飯盛(いもり)神社・稲城市の平守(ひらもり)神社・黒川の汗守神社が府中市にある大国魂神社(武蔵野国の総社:一國の總まとめをする神社)の献饌(けんせん:神様に食物を供える)をする神社であるという伝説があります。汗守神社の祭神が「保食神(うけもちのかみ:食物の神)」という事からもうなずけます。



(黒川の稲川風景:平成22年秋)

(参考資料:「小田原衆所領役帳」「川崎地名辞典」「日本の神様読み解き辞典」)

いよいよ柿生郷土史料館開館

11月20日の柿生中学校新校舎落成記念式典と同日に「柿生郷土史料館」がオープンします。開館日は試験的にしばらくの間、週1回ずつで実施いたします。

開館時間

開館：午前10時
閉館：午後3時

開館日

12月5日(日)	1月9日(日)
12月11日(土)	1月15日(土)
12月19日(日)	1月23日(日)
12月25日(土)	1月29日(土)



カルチャーセミナー案内

第25回 柿中 **カルチャーセミナー** ご案内

日時 平成22年12月20日(月)
午後6時より

会場 柿生中学校 視聴覚室

テーマ 「**榊形城悲話**」 — 稲毛三郎重成の生涯 —

講師 **小川 信夫 氏**
(劇作家)

内容 平安末から鎌倉時代にかけて川崎で活躍した源頼朝の義兄弟「稲毛三郎」の生涯と人物を探ります

カルチャーセミナー案内

第26回 柿中 **カルチャーセミナー** ご案内

日時 平成23年1月31日(月)
午後6時より

会場 柿生中学校 視聴覚室

テーマ 「**川崎たちはなの古代**」 橘樹郡衙を探る

講師 **村田 文夫 氏**
(元川崎市教育委員会文化財課長・元川崎市民家園長)

内容 影向寺・橘樹郡衙遺跡発掘調査にもとづいた古代川崎の姿を明らかにする。

郷土史料館「史料」の寄贈・寄託のお願い

このような史料はありませんか

- ◎古代の「縄文土器・弥生土器」「石器」「土師器」「須恵器」
- ◎江戸時代の「検地帳」・「水帳」・「五人組帳」・地域の「絵図」
- ◎江戸時代の「高札」(慶応4年の太政官布告「五榜の掲示」など)
- ◎江戸時代の寺子屋や私塾で使用した教科書・手本「各種往来物」
- ◎江戸時代の「藩札」「通行手形」
- ◎明治期発行の「地券」 ◎明治期の「自由民権運動」史料
- ◎明治・大正・昭和(戦前・戦中)の「国定教科書」・「新聞」
- ◎小型の農具「千歯こき」「備中鋏」「からさお」
- ◎各時代の「古銭」「生活古民具」(矢立て・印籠・火打ち・鏡・装束など)
- ◎その他各種史料「各種古文書類」「美術品」

寄贈・寄託していただける史料がありましたらご一報ください。

柿生中学校 044-988-0004 黒川まで